

## 第2章 医療施設調査・病院報告

### 1 施設数

令和4年10月1日現在の病院数は46施設（精神科病院9施設、一般病院37施設）で、前年に比べ1施設減少した。一般診療所は707施設で、前年に比べ2施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床も無床もそれぞれ1施設減少した。歯科診療所は251施設で、前年に比べ3施設減少した。（表3-1）

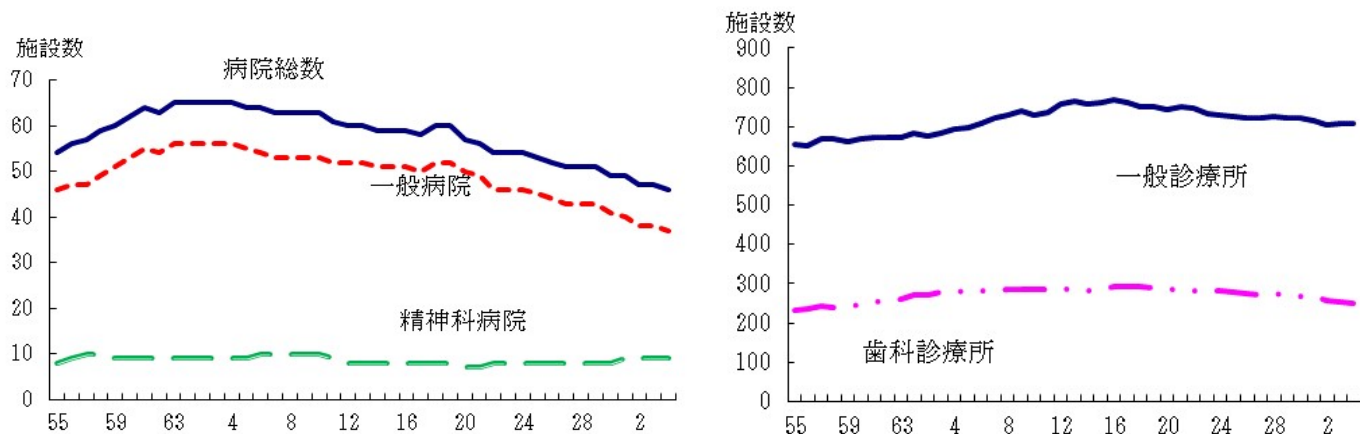
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年
総数	1,004	1,010	△ 6	100.0	100.0
病院	46	47	△ 1	4.6 (100.0)	4.7 (100.0)
精神科病院	9	9	-	(19.6)	(19.1)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	37	38	△ 1	(80.4)	(80.9)
一般診療所	707	709	△ 2	70.4 (100.0)	70.2 (100.0)
有床	38	39	△ 1	(5.4)	(5.5)
無床	669	670	△ 1	(94.6)	(94.5)
歯科診療所	251	254	△ 3	25.0	25.1

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

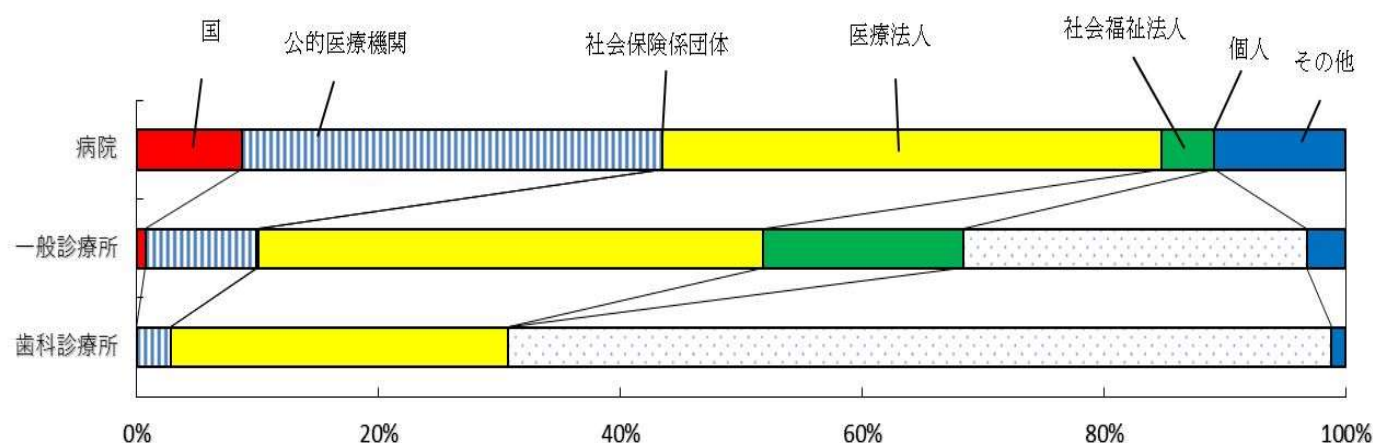
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年をピークに、緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている。（図3-1）

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の41.3%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の34.8%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における令和4年の状況は、医療法人が41.9%、個人が28.4%である。歯科診療所は大部分が個人で、68.1%を占めており、ついで医療法人が27.9%となっている。(図3-2)

図3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口10万対医療施設数を前年と比べると、一般診療所が0.8増加し、病院と歯科診療所が0.1減少した。全国と比べると、病院は0.5、一般診療所は23.2高く、歯科診療所は16.1低くなっている。(表3-2)

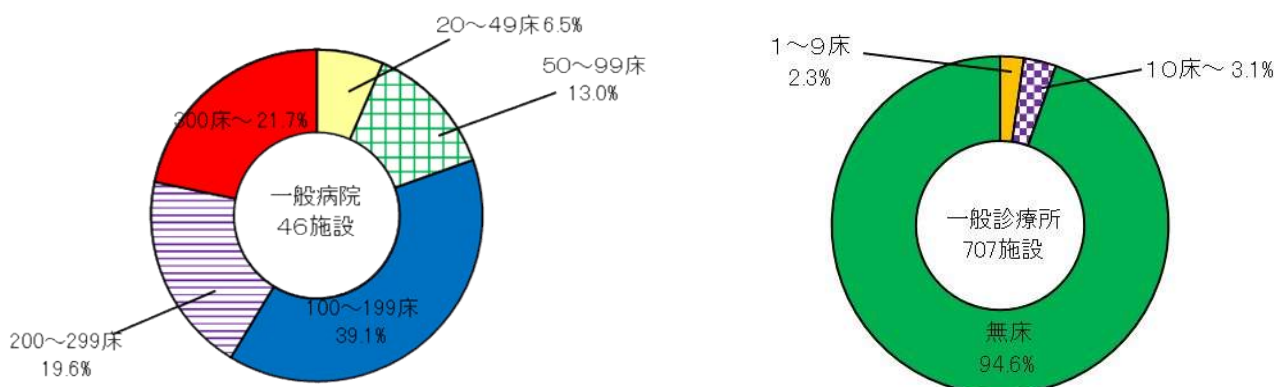
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	令和4年	令和3年	令和4年
病院	7.0	7.1	6.5
一般診療所	107.4	106.6	84.2
歯科診療所	38.1	38.2	54.2

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が6.5%、50~99床が13.0%、100~199床が39.1%、200~299床が19.6%、300床以上が21.7%であった。

一般診療所は1~9床2.3%、10床以上が3.1%、残りの94.6%は無床である。(図3-3)

3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



## 2 病床数

令和4年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ35床減少した。病床の種類別にみると、療養病床が35床減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から19床減少した。(表3-3)

表3-3 医療施設の種別による病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年
総 数	10,111	10,165	△ 54	100	100
病 院	9,705	9,740	△ 35	96.0 (100.0)	95.8 (100.0)
精神病床	2,253	2,253	-	(23.2)	(23.1)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	10	10	-	(0.1)	(0.1)
療養病床	1,723	1,758	△ 35	(17.8)	(18.0)
一般病床	5,689	5,689	-	(58.6)	(58.4)
一 般 診 療 所	406	425	△ 19	4.0	4.2
歯 科 診 療 所	-	-	-	-	-

注：( ) 内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が3.6、感染症病床が0.1、一般病床が9.1増加し、療養病床が2.5減少した。

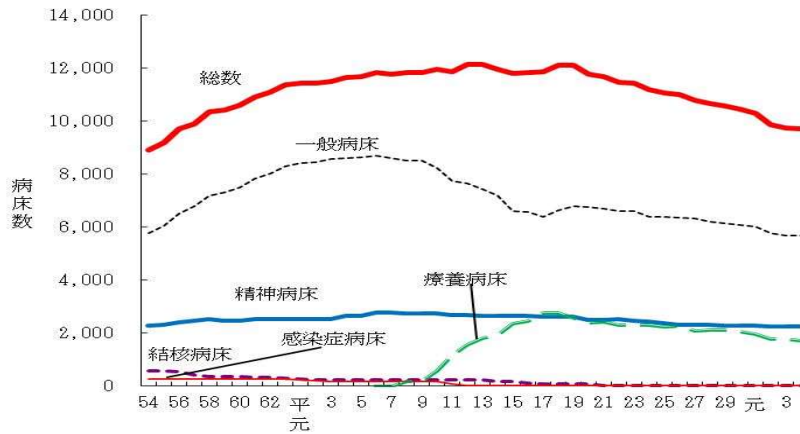
また、一般診療所は前年より2.2減少した。病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっている。(表3-4)

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	令和4年	令和3年	令和4年
病 院	1,474.9	1,464.7	1,194.9
精神病床	342.4	338.8	257.6
感染症病床	4.6	4.5	1.5
結核病床	1.5	1.5	3.1
療養病床	261.9	264.4	223.0
一般病床	864.6	855.5	709.6
一 般 診 療 所	61.7	63.9	64.4

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成18年をピークに減少に転じた。一般病床は平成10年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方療養病床は平成8年以降、年々増加していたが、平成18年の2,740床をピークに減少している。  
 (図3-4)

図3-4 病床の種類にみた病院の病床数



注1: 「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」、平成6年～平成12年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成13・14年は「一般病床」及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床をのぞく）」である。

注2: 「療養型病床」は、平成12年までは「療養病床群」であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

### 3 診療科目

県内 46 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 40 施設で、ついで整形外科が 34 施設、リハビリテーション科が 31 施設となっている。令和 3 年と比べると糖尿病内科等 8 診療科目が増加し、内科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 707 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 554 施設であり、ついで小児科が 146 施設、消化器内科（胃腸内科）が 121 施設、循環器内科が 92 施設となっている。令和 3 年と比べると、循環器内科等 7 診療科目が増加し、内科等 6 診療科目が減少した。（表 3-5）

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	令和 4 年	令和 3 年	増減数	令和 4 年	令和 3 年	増減数
内科	40	41	△ 1	554	557	△ 3
呼吸器内科	18	18	-	39	40	△ 1
循環器内科	25	25	-	92	91	1
消化器内科(胃腸内科)	22	22	-	121	119	2
腎臓内科	11	11	-	7	7	-
脳神経内科	30	31	△ 1	28	29	△ 1
糖尿病内科(代謝内科)	10	9	1	21	20	1
血液内科	4	4	-	5	5	-
皮膚科	25	24	1	50	47	3
アレルギー科	2	2	-	40	39	1
リウマチ科	5	4	1	20	20	-
感染症内科	-	-	・	1	1	-
小児科	26	26	-	146	149	△ 3
精神科	27	26	1	59	59	-
心療内科	9	8	1	42	42	-
外科	29	28	1	62	61	1
呼吸器外科	10	10	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	6	6	-	4	4	-
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	4	4	-	4	4	-
泌尿器科	21	21	-	21	21	-
肛門外科	5	5	-	13	13	-
脳神経外科	13	14	△ 1	8	8	-
整形外科	34	34	-	66	67	△ 1
形成外科	8	7	1	10	10	-
美容外科	-	-	・	1	1	-
眼科	21	21	-	49	49	-
耳鼻いんこう科	23	23	-	25	24	1
小児外科	3	3	-	2	2	-
産婦人科	15	16	△ 1	14	14	-
産科	1	1	-	2	2	-
婦人科	6	6	-	13	13	-
リハビリテーション科	31	30	1	55	56	△ 1
放射線科	20	20	-	20	20	-
麻酔科	20	20	-	15	15	-
病理診断科	8	8	-	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	3	3	-	1	1	-
歯科	5	5	-	6	6	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

#### 4 利用状況

令和4年の1日平均在院患者数は7,497人であり、前年から179人減少した。うち、精神科病院は20人減少し、一般病院は158人減少した。1日平均新入院患者は279人であり、前年から8人減少した。1日平均退院患者数は279人で、前年より8人減少した。1日平均外来患者数は6,963人で、前年から59人増加した。(表3-6)

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
病院総数	7,497	7,676	△179	279	287	△8
精神科病院	1,562	1,582	△20	5	5	-
一般病院	5,936	6,094	△158	274	282	△8
病床総数	7,497	7,676	△179	279	287	△8
精神病床	1,808	1,853	△45	7	8	△1
感染症病床	66	32	34	9	4	5
結核病床	5	4	1	-	-	-
療養病床	1,495	1,536	△41	9	9	-
一般病床	4,123	4,251	△128	254	267	△13

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	令和4年	令和3年	増減数	令和4年	令和3年	増減数
病院総数	279	287	△8	6,963	6,904	59
精神科病院	5	5	-	430	436	△6
一般病院	274	282	△8	6,533	6,468	65
病床総数	279	287	△8	・	・	・
精神病床	7	8	△1	・	・	・
感染症病床	8	4	4	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	13	13	-	・	・	・
一般病床	251	263	△12	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

令和4年の病院の病床利用率は、総数が77.3%、精神病床が80.4%、療養病床が86.9%、一般病床が72.5%、結核病床が49.9%であり、感染症病床が219.4%で前年より大幅に増加した。

(図3-5)

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

